

## 主催事業

### 「自然観察とネイチャークラフト」

#### 1. ねらい

自然観察とクラフトを通して、「人と人」、「人と自然」を結び、自然愛護の気持ちを育てます。

#### 2. 実施日

令和7年8月10日(日)

#### 3. 対象者

家族・グループ・一般

#### 4. 募集定員／応募人数／参加人数

30人／ 40人 / 21人

#### 5. スケジュール

10:00	開会式
10:15	自然観察
12:00	昼食
13:00	ネイチャークラフト
14:30	閉会式

#### 自然観察

開会式後、講師の紹介をし、2グループに分かれてセンター内の自然観察を行いました。参加者に自主的に自然を見てほしいとの願いから、ビンゴ表を用意しました。ビンゴの項目は、「ジャンケンをする葉がなる木」や、「モミジ」、「(センター内で見つけた)わたしのいちおし」「生き物の鳴き声」などでした。参加者は、講師の説明に興味深く聞き、自分で気になったことも積極的に訪ねる姿が見られました。また、自然観察後、子どもたちは「わたしのいちおし」を発表しました。ビンゴの景品になった植物で作ったバツヤや木で作った笛を、講師から嬉しそうにもらった姿が印象的でした。参加者にとって、自然により関心をもつ機会になったと感じます。



#### ネイチャークラフト

午後からは、ネイチャークラフトを行いました。センターにある森のめぐみ(自然素材)を使い、置物をクラフトしました。参加者は、どのような作品を作るのか想像力を膨らませ、イメージに合う木の実や木の枝を熱心に選んでいました。一人一人が集中し黙々と丁寧に作品を作り上げる姿がとても印象的でした。特に子どもたちは目を輝かせ、自然と笑顔になっていました。また家族と話し合い相談しながら作品を完成させるなど、家族の絆を深め、親子で楽しめる時間になりました。



#### 6. まとめ

この事業では、募集人数を上回る応募になり、当初の予定では34名の参加が見込まれていましたが、当日の雨予報で3家族のキャンセルがあり、24名の参加人数で開催しました。天候は雨予報があったものの、曇りで気温もさほど高くなく自然観察を終え、室内に移動した後に小雨が降るなど、天候に左右されずに全プログラムを終えることができました。当日は、気温も高くなく、水分や塩分タブレットの配布など徹底していたこともあり、体調を崩す参加者はいませんでしたが、今後は猛暑の中で開催する場合は、気をつけて行っていくことが必要だと感じました。また、冷やしキュウリを提供した際、たくさんの「おいしい」、「レシピを教えてください」という声をいただき、おかわりも何度もされていました。センター内には様々な自然があり、自然観察は当センターの魅力を十分に生かす事業でもあります。より多くの参加者を募り、自然に親しむ機会を提供していきたいと考えています。